

加工食品における栄養成分等の 表示実態調査の結果について

消費者庁食品表示課
2024（令和6）年12月

表示実態調査の概要

(1) 調査対象となる加工食品の選定

調査実施店舗の棚割数を参考に、約750点の加工食品を選定する。その際、製造・加工する食品関連事業者が偏らないよう、調査対象となる加工食品の一覧表を作成する。



(2) 加工食品における栄養成分等の情報収集

加工食品のパッケージを撮影し、「表示している栄養成分」、「合理的な推定による一定の値（以下「推定値」という。）」、「標準的な調理例」、「同例に基づく栄養成分表示」等を情報収集。



(3) 標準的な調理例の類型化

(2) で取りまとめた「標準的な調理例」や「同例に基づく栄養成分表示」について加工食品の特性等によって類型化。

食品群別食品数

食品群 (食品数)	品目例
畜産加工品 (16)	ハム、ベーコン、ソーセージ、その他加工肉類など
乳食品 (43)	牛乳（加工乳含む）、乳飲料、はっ酵乳、バター、チーズ、スキムミルク、その他乳食品など
水産加工品 (44)	ちくわ、はんぺん、その他練食品、魚肉ソーセージ、水産缶詰、わかめ、その他海藻類、佃煮、その他加工水産、水産加工品、水産珍味など
農産加工品 (61)	漬物、野菜缶詰、果実・デザート缶詰、冷凍農産素材、農産加工品、豆類、その他農産乾物、農産珍味など
大豆加工品 (17)	豆腐、油揚げ、納豆、豆乳、きな粉など
製穀粉・同加工品 (74)	小麦粉、天ぷら粉、米粉、片栗粉、その他粉類、インスタント袋麺、カップ麺、生麺・ゆで麺、その他麺類、スパゲティ、マカロニ、食パン、菓子パン、調理パン、パン粉、シリアル類、その他穀物など
食用油・同加工品 (9)	マーガリン・ファットスプレッド類、サラダ油・天ぷら油、ゴマ油、オリーブ油、その他食用油など

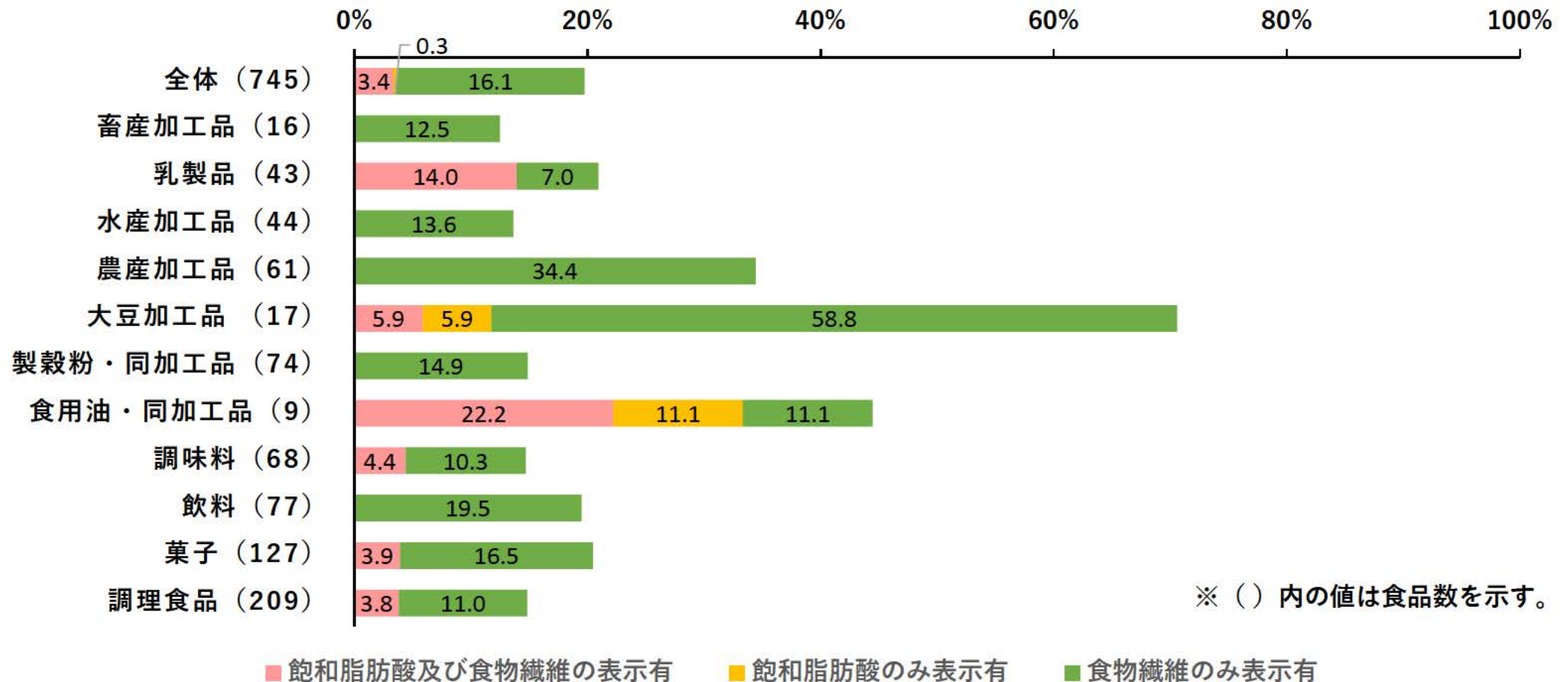
食品群 (食品数)	品目例
調味料 (68)	砂糖、みそ、しょうゆ、ソース、マヨネーズ、ドレッシング、食塩、香辛料、食酢、みりん風調味料、つゆ、液体だし、焼き肉のたれ、中華調味料、その他調味料など
飲料 (77)	炭酸フレーバー、果汁100%飲料、紅茶ドリンク、日本茶・麦茶ドリンク、その他茶ドリンク、コーヒードリンク、その他清涼飲料、ビネガードリンク、スポーツドリンク、野菜ジュース、その他果実飲料、インスタントコーヒー、ココア、紅茶、日本茶、その他の茶類、その他嗜好飲料など
菓子 (127)	チョコレート、ビスケット・クッキー、米菓、キャンディ・キャラメル、チューインガム、スナック、豆菓子、生菓子、半生菓子、焼菓子・油菓子、その他菓子類、デザート類など
調理食品 (209)	冷凍ピザ・グラタン類、冷凍麺、冷凍米飯加工品、その他冷凍食品、インスタントカレー、中華料理の素、まぜ御飯の素、ふりかけ、お茶漬けの素、その他調理品、インスタントスープ、インスタント味噌汁・吸物、その他スープ、その他惣菜など

※消費者庁「平成30年度市販食品における栄養成分表示及び栄養機能食品の表示に関する実態調査報告書」を参考に集計。

※（）内の値は食品数を示す。

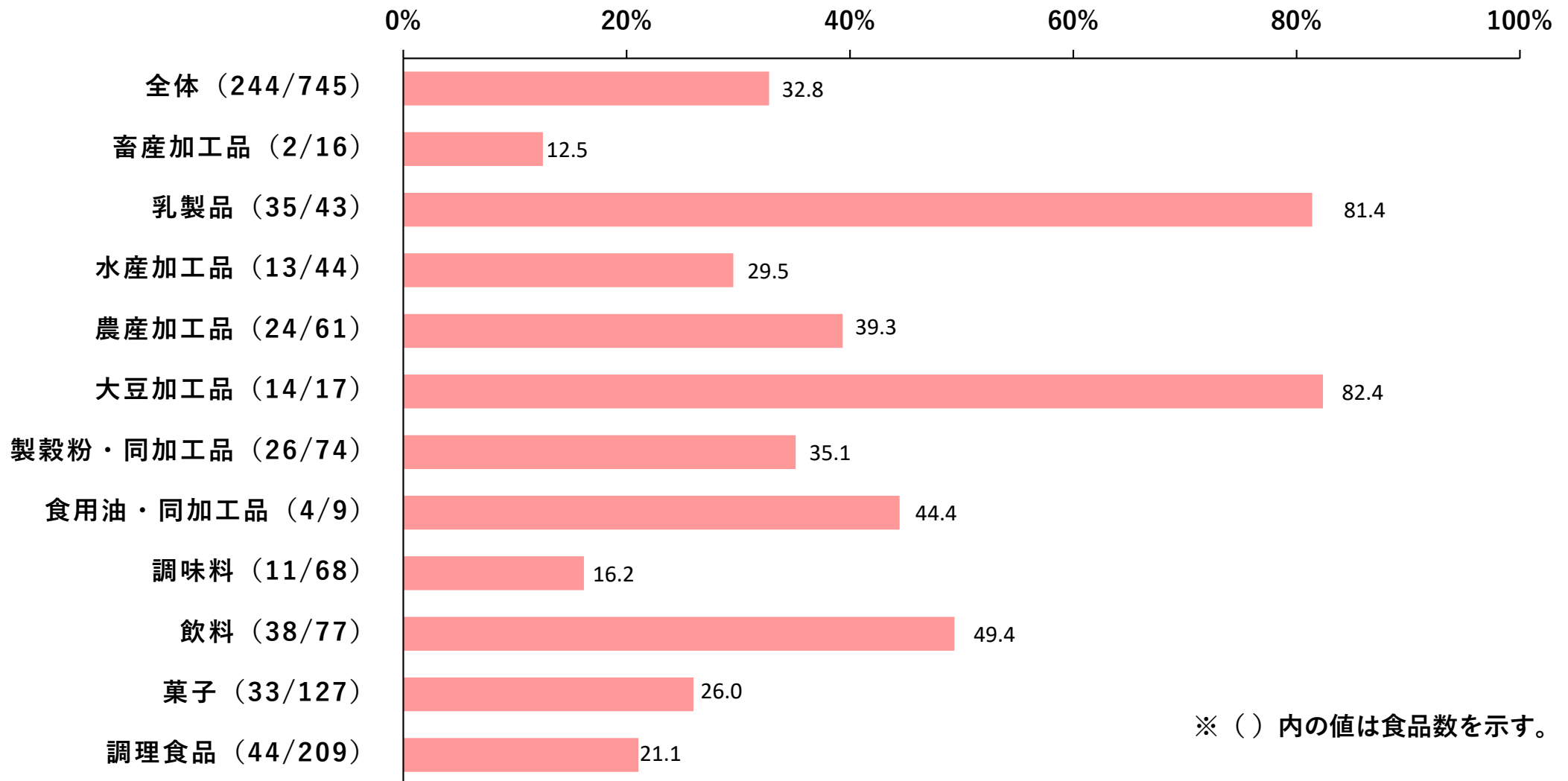
推奨表示事項の取組状況

- 推奨表示事項である栄養成分の量を表示している食品は、全体で19.7%（147食品/745食品）であった。
- そのうち、飽和脂肪酸及び食物繊維の両方を表示している食品は3.4%（25食品/745食品）、飽和脂肪酸のみを表示している食品は0.3%（2食品/745食品）、食物繊維のみを表示している食品は16.1%（120食品/745食品）であった。



任意表示事項の取組状況①

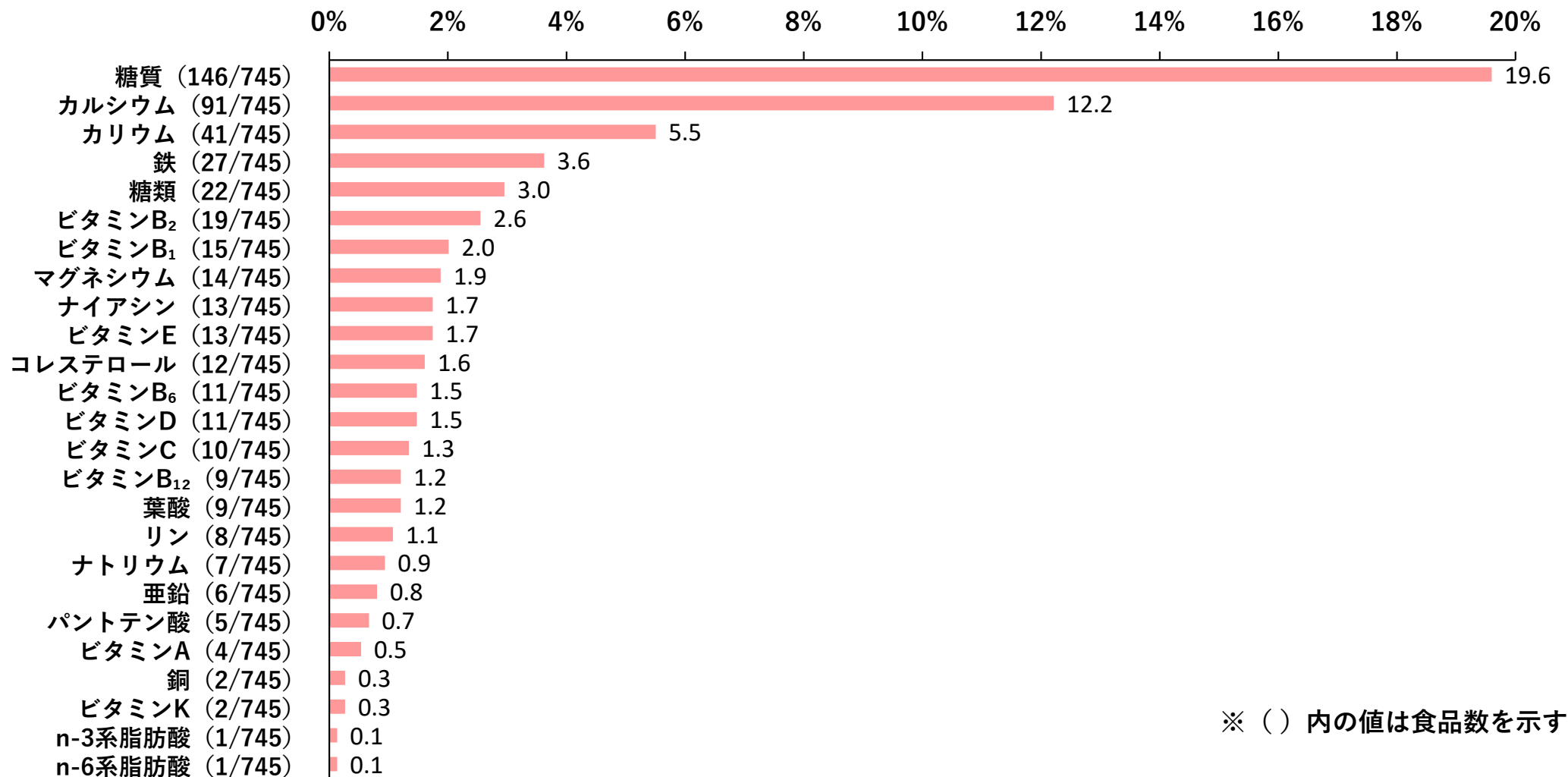
- 任意表示事項である栄養成分の量を表示している食品は、全体の32.8%（244食品/745食品）であった。



※（）内の値は食品数を示す。

任意表示事項の取組状況②

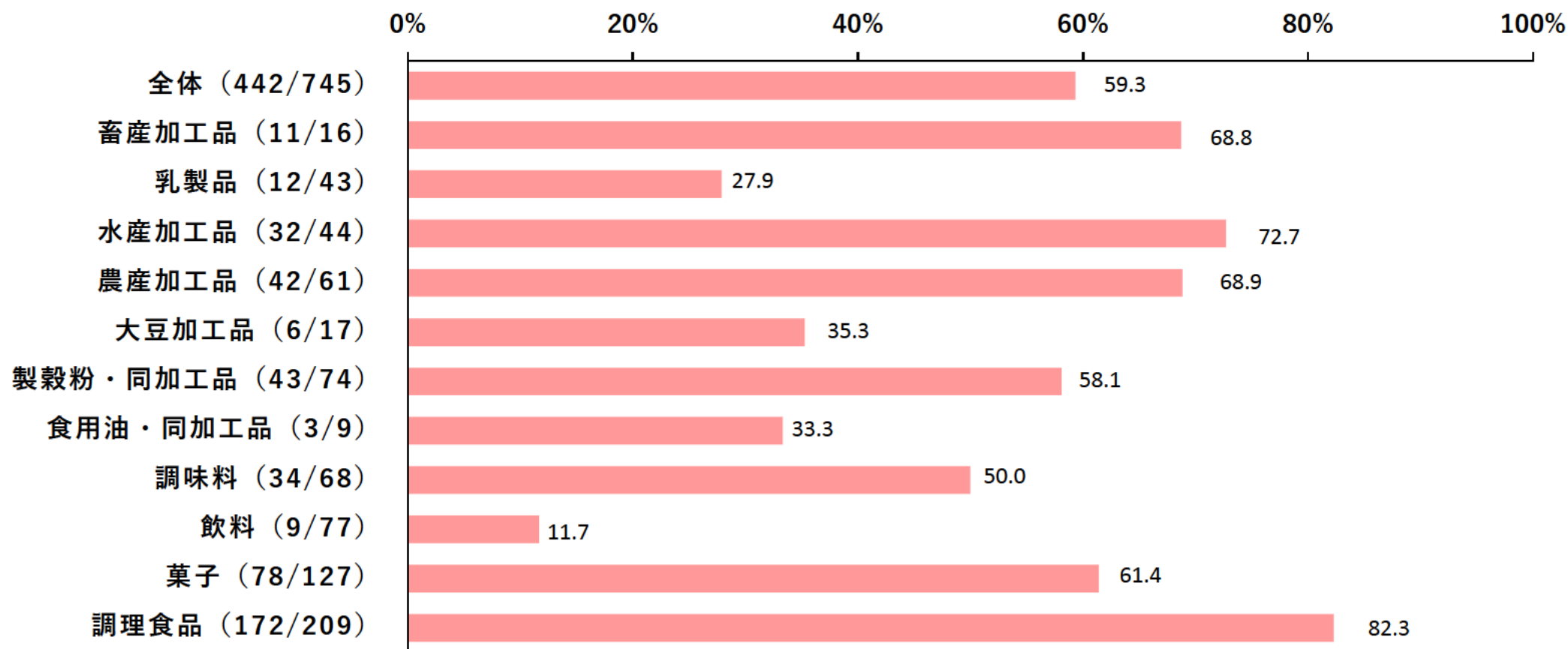
- 任意表示事項である栄養成分のうち、糖質の量を表示している食品が19.6%（146食品/745食品）と最も多く、次いでカルシウムが12.2%（91食品/745食品）であった。



※（）内の値は食品数を示す。

推定値で表示されている食品の状況

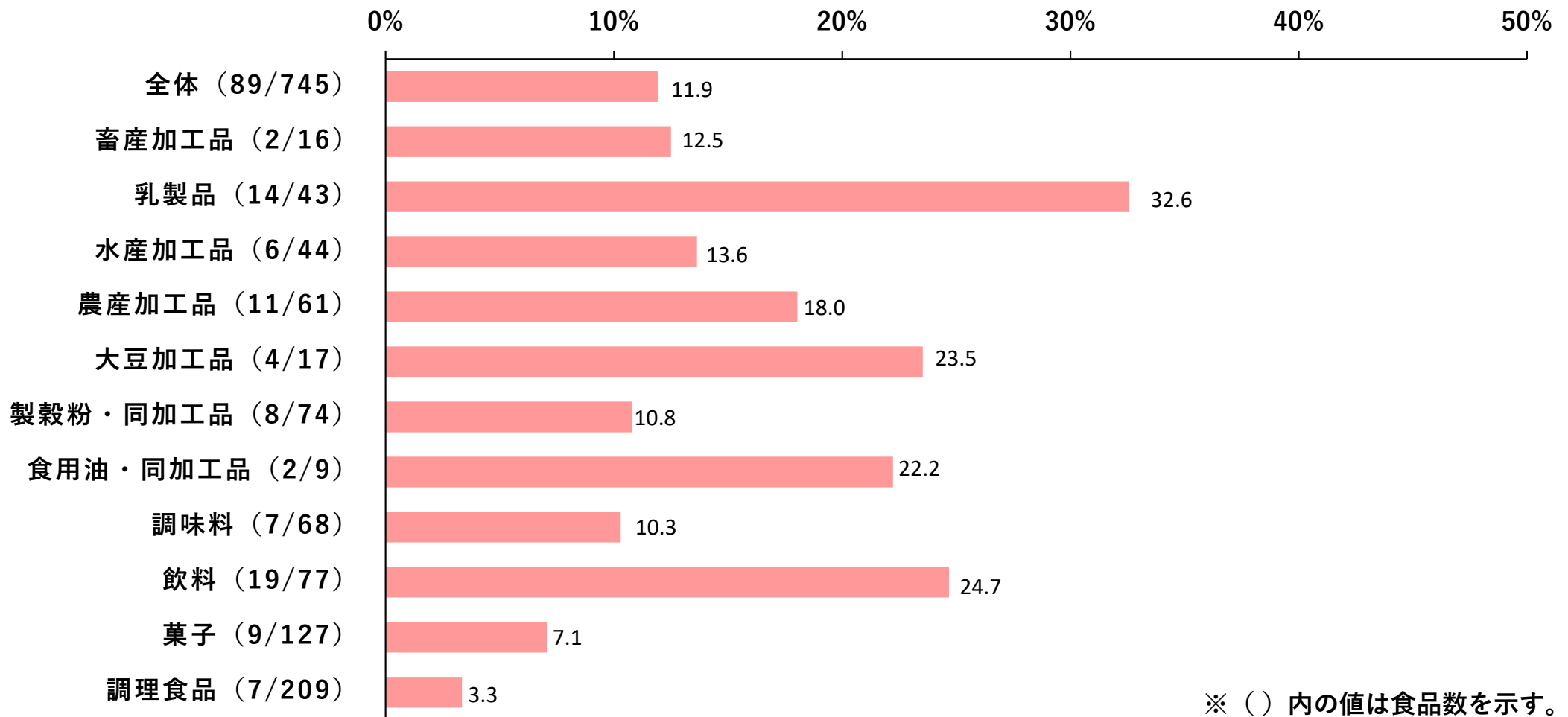
- 栄養成分表示が推定値で表示されている食品は、全体の59.3%（442食品/745食品）であった。



※ () 内の値は食品数を示す。

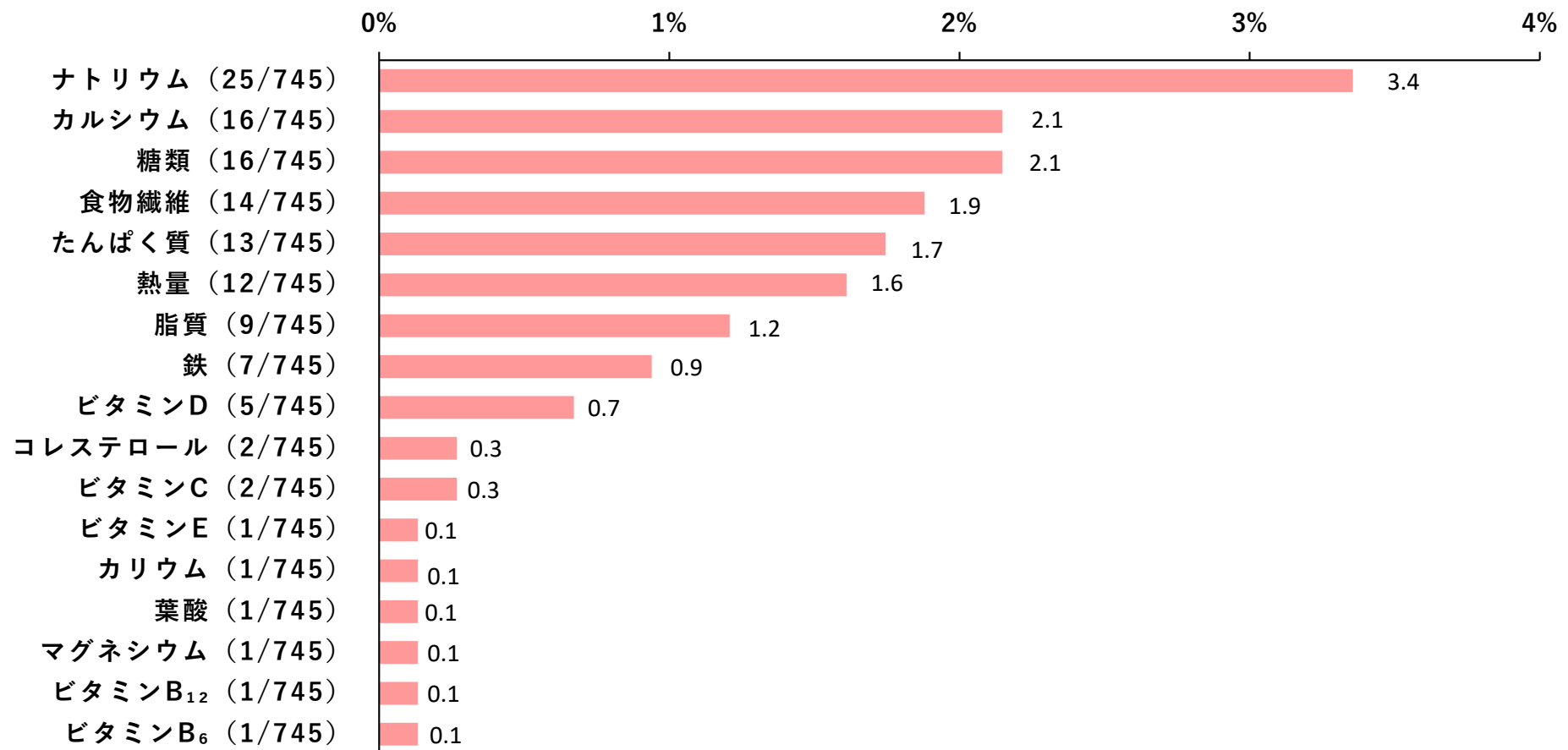
栄養強調表示がされている食品の状況①

➤ 栄養強調表示している食品は、全体の11.9%（89食品/745食品）であった。



栄養強調表示がされている食品の状況②

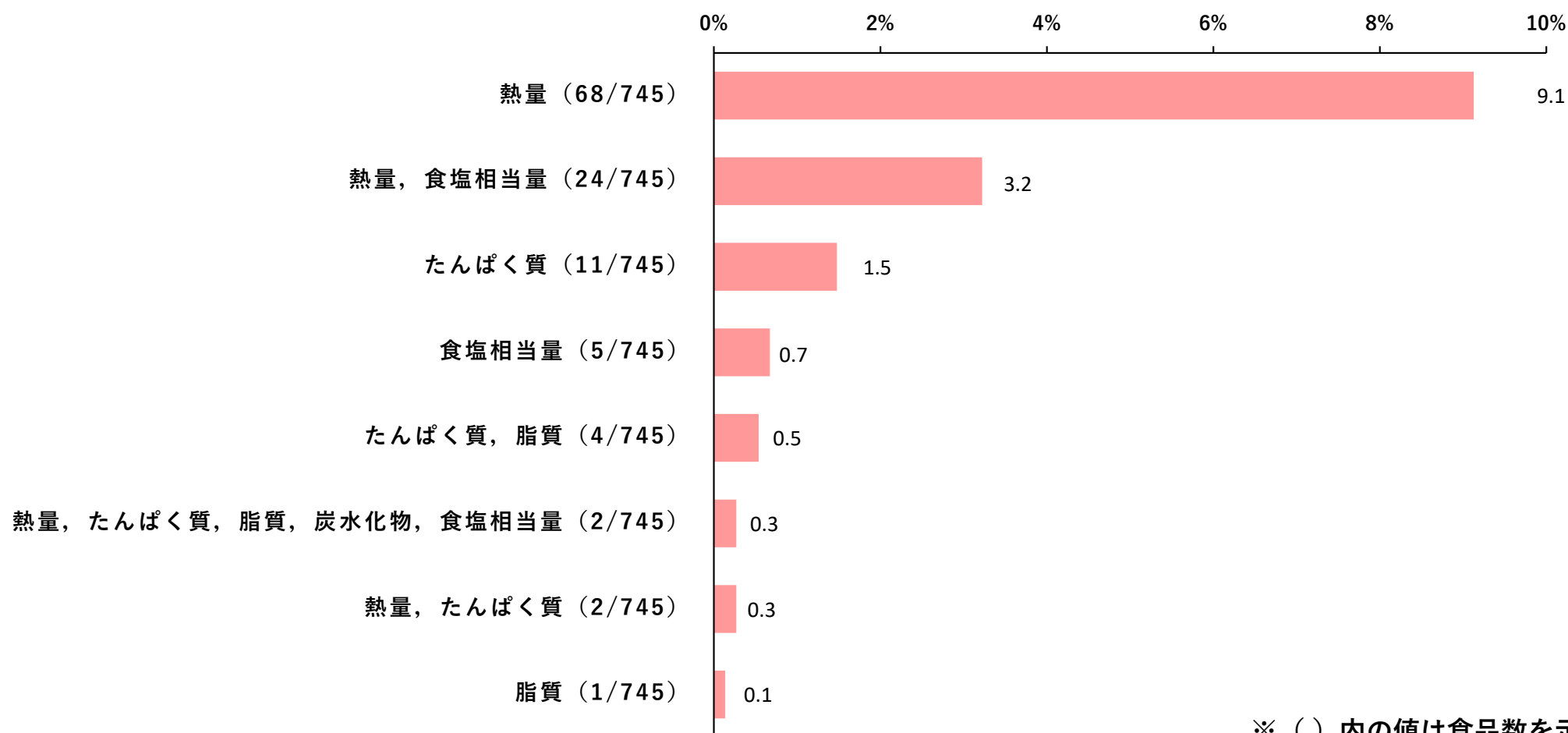
- 栄養強調表示している食品については、ナトリウムを強調表示する食品が3.4%（25食品/745食品）で最も多く、次いで糖類及びカルシウムが2.1%（16食品/745食品）であった。



※（）内の値は食品数を示す。

栄養成分等を容器包装の前面に表示している食品の状況

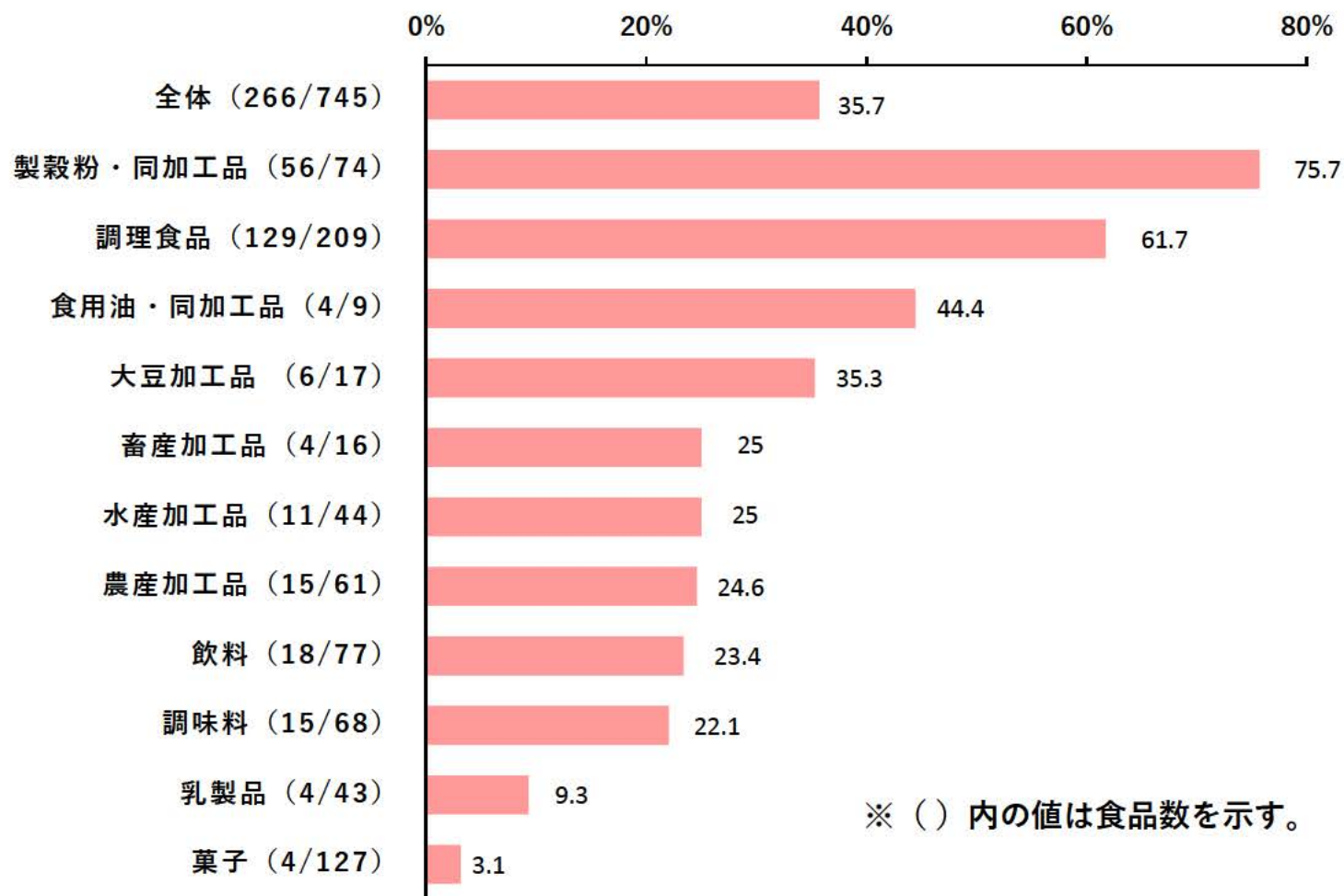
- 義務表示事項である栄養成分等を容器包装の前面に表示している食品については、熱量のみを表示する食品が9.1%（68食品/745食品）と最も多く、次いで熱量及び食塩相当量が3.2%（24食品/745食品）であった。



※（）内の値は食品数を示す。

標準的な調理例が記載されている食品の状況

- 標準的な調理例が記載されている食品群は、製穀粉・同加工品が75.7%（56食品/74食品）で最も多く、次いで調理食品が61.7%（129食品/209食品）であった。



※ () 内の値は食品数を示す。

製穀粉・同加工食品

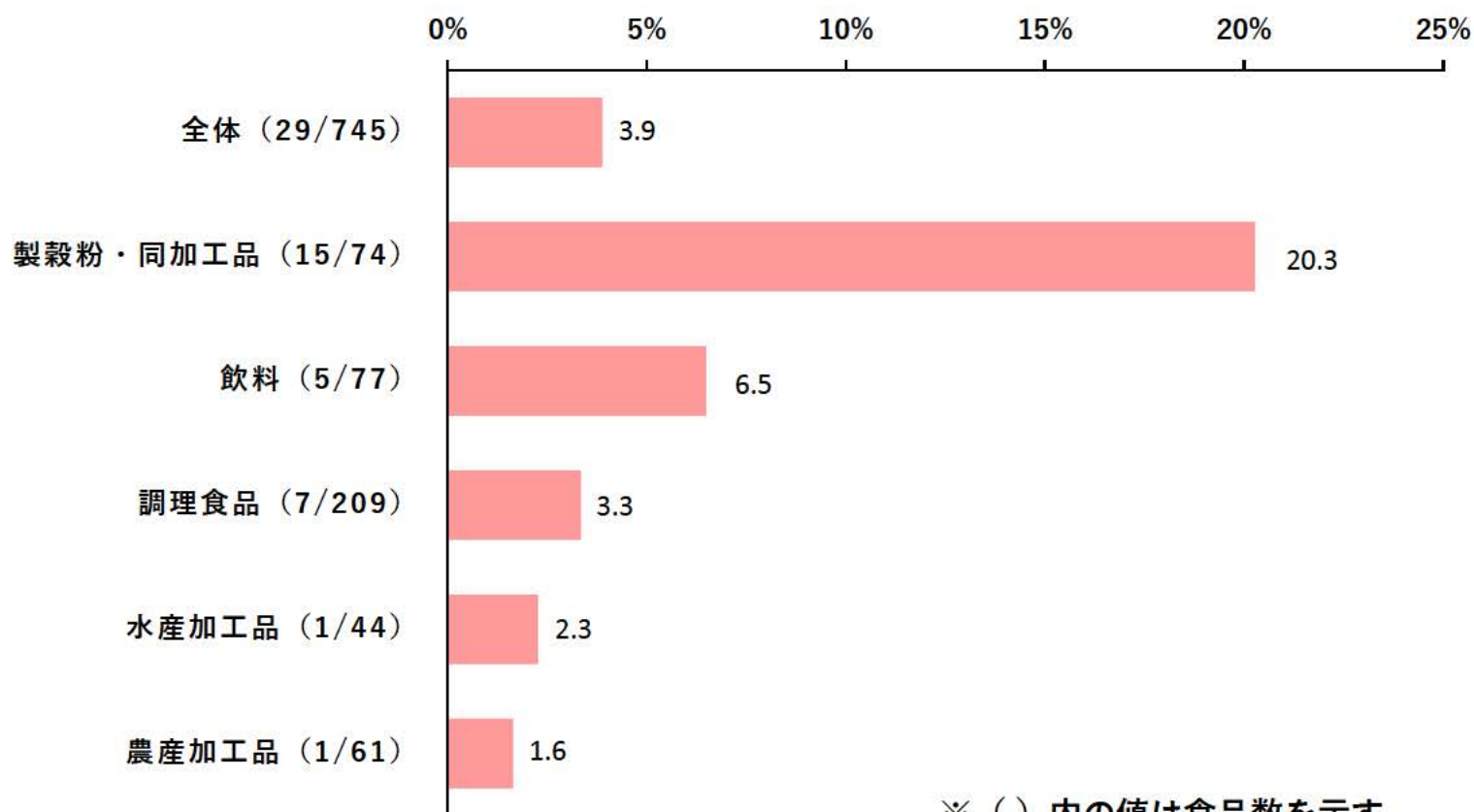


調理食品



調理後の栄養成分等の量が表示されている食品

- 標準的な調理例に基づく栄養成分等の量が表示されている食品は、製穀粉・同加工食品が20.3%（15食品/74食品）で最も多く、次いで飲料が6.5%（5食品/77食品）であった。



※（）内の値は食品数を示す。



販売時と摂取時の栄養成分等の量にかい離が生じる食品

水で抽出する食品



茶葉

コーヒー豆

水で希釈する食品



濃縮ドリンク

水で塩抜きする食品



塩蔵わかめ



塩蔵くらげ

湯切りする食品



カップ
焼きそば



生麺

一般的に牛乳を加える食品



ココア等



シリアル

油のみを用いて調理する食品



冷凍フライ



冷凍ピラフ

名称からその用途が明らかなミックス粉



ホットケーキミックス



お好み焼き粉

調理方法を表示する調味料

一つの食品を追加



パスタソース

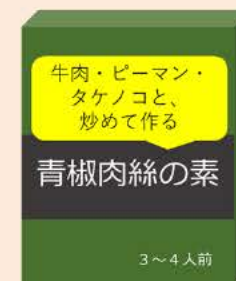


合わせ調味料

複数の食品を追加



カレー



※ 赤囲みされた食品群は、表示実態調査で新たに追加したもの。